



# 破滅の後

**開始条件:** レベル5のソーボーンズ

**目的:** 負傷した全仲間を救う

## 序幕:

恐るべき轟音によって目が覚めた。人々は叫び、大地がひび割れる凄惨な音が響いた。寝台から跳び起き、服を引き寄せ、装備を引っ掴む。外の混乱はひどくなるばかりだ。悲鳴が耳につく。それから石積みが崩壊し、業火が燃え広がる爆音が続いた。それに伴う揺れのせいで、転びかけた。

できるだけ早く災害地点に着けるよう、走った。しかし到着すると、差し迫った危機はすでに去っていた。攻撃者は消え失せ、残っていたのは圧倒的な破壊の跡だけだった。

建物は廃墟と化していた。壁の多くは倒れ、辺り一面に石ころや瓦礫が散乱している。急を要するのは、死にゆく兵士たちだ。叫び、断末魔の苦しみにあえいでいた。できるだけ多くその命を救おうと、ただちに手当の準備を始める。

## 特別ルール:

すべての街の衛兵は仲間です。彼らは行動せず、行動順位もありません。公開されたすべての街の衛兵は、各ラウンド終了時に1ダメージ受けます。HPが完全回復したとき、初めて救出されたものとみなします。以降は上記のダメージを受けなくなり、完全に（全ダメージ・トークンを取り除きます）。1人でも街の衛兵が倒れたら、パーティはこのシナリオに敗北します。街の衛兵に〈救急箱〉もしくは〈大型救急箱〉カードを与えることもできます。その場合、衛兵はただちに、そのカード上の値（4または8）だけ治療されます。

各街の衛兵 **a** は、公開されたとき現在の HP が2になるよう、ダメージ・トークンを乗せてください。同様に街の衛兵 **b** は、公開されたとき現在の HP が4になるよう、ダメージ・トークンを乗せてください。街の衛兵 **c** は、公開されたとき、現在の HP が7になるよう、ダメージ・トークンを乗せてください。また、各障害物の HP は4です。



崩れた壁に近づいていった。ここには荒廃の跡しかない。多くの男たちが、落下した瓦礫の下に埋まっている。重傷の副長も、そのひとりだ。肺が血で一杯なのに、助けを求めてうめいている。君は「ひとり残らず救おう」と、自分に厳命した。

## 特別ルール:

上級モンスターの街の衛兵は、重傷の《衛兵副長》です。HPはH×3。Hは上級モンスターの街の衛兵の通常のHPの値です。その上に、現在のHPが4になるよう、ダメージ・トークンを乗せてください。《衛兵副長》は他の衛兵と同様、ダメージを受けたり、救われたりします。さらに、現在のラウンドを改めて第1ラウンドとし、ラウンド数を数えていってください。第10ラウンド終了時、《衛兵副長》がまだ救出されていなければ、パーティはこのシナリオに敗北します。

## 終幕:

多くの命が失われた。それでも、可能な限り多くを救うことができたのが、せめてもの慰めだった。副長は特に感謝し、特別な外套の仕立てを手配してくれた。自室に戻る。脳裏を駆け巡る死にかけた男たちの終わりなき叫びは、やがていつものように、平和な眠りにその座を明け渡していった。

## 報酬:

アイテム 148 番〈医師の白衣〉



## 使用する地形タイル:

A1a  
G1b  
A3b  
N1b